

自転車安全運転利用五則を守りましょう！

- ① 自転車は車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用

*自転車運転は気持ちの良い運動にもなりますが、大きなケガにもつながります。安全運転で楽しみましょう。

「子どもの命を交通事故から守る動画」を公開！

大分県交通安全協会では「親子で学べる交通安全教室」の動画を公開しています。一度ご覧になって、子どもさんやお孫さんが交通事故に遭わないために、どのようなことを教えればいいのか、一緒に考えてみませんか。

おやつ作りと絵本とあそび会

時 毎月最終火曜日 10時
所 敷戸校区公民館別館
子どもと一緒に保護者も
ゆっくりゆったり過ごせる
ひとときです。

「どんぐり文庫」

毎週月、水、金に公民館2階
の児童室を児童図書を楽しむ
場所として開放しています。
たくさんの絵本、児童書が待
っています。
ご利用ください。

里の暮らし (14)

梅雨が明け、夏の日差しが畑に照り付ける頃、ケヤキの大木が葉を茂らせ一休みするのに程良い木陰を作ってくれる。この木に掛けた巣箱から今年もシジュウカラの雛が巣立った。小鳥の巣箱は巣穴の直径が肝心で、シジュウカラ用は2.8センチにする。他の大きな鳥から襲われないためである。

私の畑は大きな川沿いにあり、多くの種類の鳥たちを目にすることができる。百メートルほど離れた対岸は、そそり立った崖になっており、川面にせり出した木の枝から川魚を窺う鳥がいる。鳩ほどの大きさで、背中が白黒のまだら模様をし、髪の毛が逆立っているのが特徴のヤマセミだ。獲物を見つけると羽ばたきながら上空で停止し、狙いを定め真下に飛び込み、魚をくわえて枝に戻る。見ていて「お見事」と声をかけたくなるほど鮮やかな狩りだ。

ヤマセミが単独のつがいでも過ごすのに対し、シラサギ類、アオサギ、カワウなどの水鳥は、岸辺の樹木に大群で営巣する習性があり、辺りはギャーギャーと鳴き交わす声でにぎやかだ。日が落ち薄暗くなる頃、森の奥からフクロウの声がしたと思ったら、畑の近くに姿を現した。夜活動するネズミやモグラが獲物だ。暑い盛りに一人で畑仕事するのは辛くもあるが、こうして周りの鳥たちが心を和ませてくれる。

お知らせ 子育てサロン「つくしんぼ」は九月一四日(月)から再開します。どうぞ参加ください。

敬老の日施設優待券を配布します

配布期間 八月一九日(水)～九月三〇日(水)

配布場所 敷戸校区公民館事務室

*本人又は代理人に窓口配布します。年齢証明が必要です。問い合わせは公民館事務室まで。